

9月度生涯研修抄録

「歯痛」を見直す—口腔顔面痛の診査・診断の基本

和嶋浩一 (慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室非常勤講師、日本口腔顔面痛学会元理事長)

口腔顔面痛外来を受診する患者の主訴で多いの

は歯痛、歯肉痛であり、通常の歯科治療で治るはずの痛みが半数以上を占めているという状況が長年変わっていない。通常の歯科治療で簡単に治るはずの歯痛、歯肉痛が難治となっている。その理由には痛みの原因が歯肉性では無いにも関わらず、歯肉性と誤って診断し、原因でない歯の治療をした結果であると思われる。歯や歯周組織には異常が無いにもかかわらず、歯痛、歯肉痛が感じられる非歯肉性歯痛について、一般歯科医師の理解度は未だ低いままである。

臨床的によく経験することとして、歯肉炎による歯痛の患者が痛みの部位を上下顎間違って訴えたり、肩こりによって頭痛や歯痛が生じ、マッサ性歯痛が2014年、平

成26年版歯科医師国家試験出題基準に含まれ、毎年、関連問題が出題されているが、前記のようにいまだ理解度が高まっていない。非歯肉性歯痛は原疾患から成る。これらの原疾患は口腔顔面痛の主なる疾患でもあり、非歯肉性歯痛を学習することは口腔顔面痛学習にもなる。講演では、痛み診療のための臨床診断推論を解説して、基本的口腔顔面痛の診査の流れを示す。次に歯肉性歯痛と非歯肉性歯痛の鑑別、非歯肉性歯痛の原疾患毎の解説と診断、治療法を実際の症例を交えて解説する。

9月度生涯研修 日時 9月8日(日)午前10時〜午後1時 会場 M&Dホール 定員 100人 会費 会員3千円、未入会者1万円 申し込み 協会事務局(06-65668-7731)



会員投稿

と、多様な経験を積みこ

視点を改めて見る

久松 聰 (高槻市)

は逆に右側の視野が開け、動作線が時計回りになった。スプーンでの摂食はすぐに馴れるが箸は習熟を要する。左手使用はイメージ脳の右脳を活性化する効果がある。時速何十キロかのスピードで視点が移動する電車に乗り、窓外の風景を観察。近くの建物があったという間に後方へ、遠くの物ほどゆっくり此方へ近づいてくる感じで、風景全体が回転しているように見える。電車の先頭での視点では、地平線上の点がみるみる大きくなり、駅に到着。駅の風景

出来立てを味わう サントリービール工場見学



北河内地区は7月21日、サントリービール工場「京都ブルワリー」見学のツアーを開催し、13人が参加した(写真)。ツアーでは、素材選びからパッケージングに至るまで、ビールづくりのこだわりを視覚や味覚で楽しみながら知ることができた。見学後の試飲では、3種類の出来立てビールを味わいながら工場の雰囲気を楽しんだ。見学の懇話会では、魚屋くしの懐石料理を堪能。ゆったりした時間を楽しむことができた一と感想が寄せられた。

クリサイ情報 譲ります 医院閉院につき、9月1日(日)10時〜17時の1日限定ですが、医院にあるものを何でも激安でお分けいたします。当日、テナント入居のビルはオートロックがかかっているため、ご連絡いただければ開錠いたします。 【住所】大阪市北区国分寺1-2-1キョーエイビル301 【連絡先】上田歯科医院 06-6356-6430

毎月更新 大阪府歯科保険医協会 求人情報サイト 協会HPから申し込み 費用は3カ月で1万円 ※協会は情報提供のみです。 http://osk-net.org/job/

協会行事案内

税務調査をめぐる最近の動向と日常の留意点 第2回 8月24日(土)午後6時〜8時 内容【検査・画像診断・投薬・麻酔・処置、歯周疾患】 第3回 9月21日(土)午後6時〜8時 内容【手術、歯冠修復ブリッジ、有床義歯】 河内ワイン・カタシモワイナリー見学&フレンチランチ会 9月8日(日)午前10時30分〜午後2時 三島地区講習会 臨床医のための歯周治療 9月21日(土)午後7時〜8時30分